



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月8日

上場会社名 株式会社セルシス 上場取引所 東  
 コード番号 3663 URL <https://www.celsys.com>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 成島 啓  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 伊藤 賢（TEL）03-6258-2904  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年12月期第1四半期の業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	2,803	16.7	1,211	59.6	1,213	61.7	813	18.9
2025年12月期第1四半期	2,401	—	759	—	750	—	684	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	27.46	27.42
2025年12月期第1四半期	22.26	22.24

（注）2024年12月期は連結業績を開示しておりましたが、2025年12月期第1四半期より非連結での開示としております。  
 そのため、2025年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	8,435	4,668	54.6
2025年12月期	7,910	4,334	54.0

（参考）自己資本 2026年12月期第1四半期 4,607百万円 2025年12月期 4,273百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	22.00	—	14.00	36.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	18.00	—	20.00	38.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2025年12月期の第2四半期期末配当金には、東京証券取引所プライム市場上場記念配当10円を含んでおります。

## 3. 2026年12月期の業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,016	5.8	1,598	4.2	1,579	3.1	1,054	21.1	35.57
通期	9,963	5.2	3,317	11.8	3,282	11.8	2,192	30.4	73.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年12月期 1 Q	34,771,180株	2025年12月期	36,271,180株
---------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年12月期 1 Q	5,140,164株	2025年12月期	6,639,764株
---------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年12月期 1 Q	29,631,016株	2025年12月期 1 Q	30,752,897株
---------------	-------------	---------------	-------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、グローバルで拡大を続けるクリエイターエコノミー市場において、サービス・プラットフォームを開発・提供する事業を展開し、さらなる成長の実現を目指して「中期経営計画2025-2027」を策定しております。本中期経営計画においては、「クリエイションで夢中を広げよう」をビジョンに掲げ、クリエイターエコノミー市場において、作品をつくるクリエイターと、それらを楽しむオーディエンスの活動の歩み「CREATOR JOURNEY」をサポートするサービス提供を通じて「一人ひとりの夢がつかぬ、もっとカラフルな世界」の創造を目指してまいります。なお、中期経営計画では、期間中のROE30%以上を重要なKPIとして設定しております。

当社は、イラスト・マンガ・Webtoon・アニメーション制作アプリ「CLIP STUDIO PAINT」の開発・販売を中心とする「クリエイターサポート分野」と、電子書籍ソリューションや企画・開発中であるクリエイターのマネタイズを支援する新プラットフォームサービス及びユーザーコミュニティ強化のための新サービスからなる「クリエイタープラットフォーム分野」の2分野に分けて展開しております。

引き続き「CLIP STUDIO PAINT」の収益力をさらに強化しながら、事業領域をクリエイターエコノミー市場全体へと拡大し、「CLIP STUDIO PAINT」を軸に築いたクリエイターからの信頼や強み、蓄積した資産を活用することで、新たにクリエイタープラットフォーム分野でもサービスを開発・提供し、新たな事業の柱とすることを目指してまいります。

当事業年度におきましても、世界で通用する日本発のサブスクリプションモデルによるクリエイター向け創作アプリである「CLIP STUDIO PAINT」を核とした経営に重点を置き、戦略的な開発投資を継続して行い、企業価値の向上に注力してまいりました。

「中期経営計画2025-2027」の2年目における当社の経営成績は、主力の「CLIP STUDIO PAINT」を中心に、堅調な事業推進の結果、四半期における売上高、営業利益等の主要な収益指標において過去最高を更新し、持続的な成長基盤の確立と財務健全性を維持した経営を実現し、計画に対して順調に推移いたしました。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,803,808千円（前年同期比16.7%増）、営業利益は1,211,410千円（同59.6%増）、営業利益率は43.2%（同11.6pt増）となりました。

経常利益は、営業外収支として受取利息5,283千円を計上した一方で、為替差損3,033千円を計上したこと等により1,213,668千円（同61.7%増）となりました。四半期純利益は、法人税等399,869千円を計上したことにより、813,799千円（同18.9%増）となりました。なお、2026年2月13日開示の第2四半期業績予想に対する進捗率は、売上高が55.9%、営業利益が75.8%となり、通期業績予想に対する進捗率は、売上高が28.1%、営業利益が36.5%となりました。

当社は、資本効率の向上と株主還元の充実を図ることを重視しており、初めて2026年3月16日に150万株の自己株式消却を実施いたしました。また、2026年12月期の1株当たり配当につきましては、中間配当18円、期末配当20円を予定しており、年間配当金は合計38円（前年より2円の増配）を見込んでおります。

#### <クリエイターサポート分野>

クリエイターサポート分野は、グラフィック分野で活動するクリエイターの創作活動をサポートする、イラスト・マンガ・Webtoon・アニメーション制作アプリ「CLIP STUDIO PAINT」の提供を通じて、コンテンツの制作に関わるサービスをグローバルに展開しております。主力サービスである「CLIP STUDIO PAINT」は、累計出荷本数が2026年3月に6,317万本（前年同月比26.9%増）に達し、2026年4月には6,430万本に達しました。また、同アプリのサブスクリプションARR（年間経常収益）は、2026年3月に58億円（前年同月比25.9%増）となり、過去最高を更新しております。当社が注力している、「CLIP STUDIO PAINT」におけるサブスクリプションモデルでのライセンス提供は、利用開始時の価格が抑えられており、ユーザーの導入ハードルを下げ一方で、買い切りモデルに比べて短期的な収益性は限定的です。しかしながら、継続利用による中長期的な安定収益が見込めることから、今後も契約数の拡大に取り組んでまいります。なお、「CLIP STUDIO PAINT」の月次のチャーンレートは2026年3月末が5.4%となっております。

「CLIP STUDIO PAINT」は世界11言語に対応し、出荷の80%以上が日本語以外の海外市場向けです。引き続き、売上高及び利用者数の増加を目的に、英語、韓国語、ドイツ語、フランス語圏等はもちろんのこと、今後の成長期待が大きい、東南アジアや中南米地域の新興国に対するマーケティングや各国で主流の決済手段に継続して対応し、見込み顧客の最大化を図ってまいります。

当第1四半期では、2026年3月に「CLIP STUDIO PAINT」の売上及びユーザー数の底上げ、サブスクリプション契約数の増加を目的に、「CLIP STUDIO PAINT」のメジャーバージョンアップを実施し、Ver. 5.0の提供を開始しました。

グローバルで提供開始したVer. 5.0は、多くの反響をいただき、当初計画を大きく上回る売上実績となりました。なお、サブスクリプションモデルと並行して販売を継続している買い切りモデルのユーザーは、Ver. 5.0以降の最新機能を利用するためには、サブスクリプション契約または新バージョンの優待購入が必要となる提供モデルとしております。これにより、サブスクリプション契約の増加や、旧バージョンの買い切りモデルユーザーから新バージョンの優待購入や新バージョンの買い直し需要の増加により売上が伸長しました。また、同メジャーバージョンアップにあわせて、収益性の向上と継続的なサービス提供を実現することを目的に、買い切り版の価格を改定し、平均10%の値上げも行っております。今後も、定期的なメジャーバージョンアップとサービスの価値向上に応じた価格改定を行ってまいります。

#### <クリエイタープラットフォーム分野>

「クリエイタープラットフォーム分野」では、「CLIP STUDIO PAINT」で培ったクリエイターからの信頼や強みと流通ソリューションにおける資産を活用し、クリエイターエコノミー市場において、コンテンツの制作にとどまらない、より広い領域で新たなクリエイターの活動の場となりうるサービス・プラットフォームの開発・提供・運営を行い、クリエイターの創作活動の活性化を図ると共に事業の拡大を目指してまいります。

当第1四半期では、クリエイターエコノミー市場におけるエコシステム、グローバルでの業界動向やサービスに関する調査を進めながら、新規プラットフォームサービスの企画・開発を推進してまいりました。現在、①「クリエイターのマネタイズを支援するプラットフォーム（名称未定）」及び②「ユーザーコミュニティ強化のためのサービス（名称未定）」の2サービスについてグローバルでのリリースに向けた企画・開発を継続しています。①「クリエイターのマネタイズを支援するプラットフォーム（名称未定）」については、2026年12月期中の提供開始を予定しております。

また、従来より提供している「CLIP STUDIO PAINT」の利用をサポートするコミュニティサービスの運営を行いながら、継続的な機能改善を実施して「CLIP STUDIO PAINT」のサブスクリプション契約者の継続利用率向上にも努めております。また、漫画家志望者と新たな才能を探すマンガ編集者のマッチングを支援するサービス「モチコミonline」等の運営や、機能改善アップデートを実施し、プラットフォームサービスの利用者数の増加に努めました。「モチコミonline」を通じて既に多数の作家がデビューしており、この実績・ノウハウを開発中の新プラットフォームへつなげてまいります。

なお、当社が提供するクリエイタープラットフォームサービスの全世界での利用者数は、1,200万人超え（前年同月比22.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べて525,485千円増加し8,435,766千円となりました。この主な要因は、前払費用が91,276千円、未収入金が74,849千円、投資有価証券が64,695千円減少したものの、現金及び預金が603,678千円、ソフトウェア仮勘定が76,510千円、売掛金が59,371千円、ソフトウェアが15,943千円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べて191,221千円増加し3,767,487千円となりました。この主な要因は、役員退職慰労引当金が775,812千円、未払法人税等が36,396千円、未払費用が26,479千円減少したものの、未払金が673,893千円、長期未払金が158,632千円、前受金が129,766千円、賞与引当金が69,725千円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて334,264千円増加し4,668,278千円となりました。この主な要因は、自己株式の消却によりその他資本剰余金及び自己株式が1,500,915千円、その他有価証券評価差額金が64,695千円減少したものの、利益剰余金が398,959千円増加したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、54.6%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の第2四半期業績予想及び通期業績予想につきましては、2026年2月13日の公表値を据え置いておりますが、主力サービス「CLIP STUDIO PAINT」において、今後もサブスクリプションモデルを中心に売上は安定して推移すると見込んでおり、また、例年実施している新規ユーザー獲得を目的とした定期的な買い切り版のキャンペーンによる売上推移を見極めながら、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

当社は、AIに代替されない価値提供を軸とした事業構造を確立済みです。

当社の主力サービスである「CLIP STUDIO PAINT」の主要ユーザーは、趣味・ハイアマチュア層を中心としたクリエイターであり、自ら創作することによる楽しさやスキル向上、コミュニティにおける共感といった、当社サービスが提供するAIに代替されない「創作体験」価値に対して継続的な利用を頂いており、AIの利用が拡大している環境下においても、「CLIP STUDIO PAINT」のユーザー数及び売上は継続して成長しております。

引き続き、事業におけるAIの活用を推進しながら、AIに代替されない価値提供を継続して、事業成長の継続を目指してまいります。

また、当社の海外での事業展開においては、日本円以外の通貨で決済される「CLIP STUDIO PAINT」の売上と、日本円以外の通貨で請求されるサーバー利用料や広告宣伝費があり、売上と費用の変動が相殺されることとなります。したがって、為替の変動に対する利益の変動は軽微であり、通期業績予想に与える大きな影響はありません。なお、海外との取引はドルだけではなくユーロやウォン等、多くの通貨で行っており、特定の通貨のみの変動も通期業績予想に与える大きな影響はありません。

なお、中期経営計画においてROEは30%以上を目標としておりますが、当事業年度において今後の業績が計画通りに推移した場合は、通期でのROEは40%以上になる見込みです。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,086,301	4,689,979
売掛金	366,130	425,502
製品	13,604	10,619
原材料及び貯蔵品	96,983	96,755
未収入金	458,341	383,491
前払費用	338,334	247,058
貸倒引当金	△93,499	△95,930
流動資産合計	5,266,196	5,757,475
固定資産		
有形固定資産		
建物	187,599	199,549
減価償却累計額	△102,273	△105,535
建物(純額)	85,326	94,013
工具、器具及び備品	308,660	298,129
減価償却累計額	△243,993	△236,311
工具、器具及び備品(純額)	64,667	61,818
有形固定資産合計	149,993	155,832
無形固定資産		
特許権	33,423	31,942
商標権	33,613	32,330
ソフトウェア	918,689	934,633
ソフトウェア仮勘定	276,369	352,879
その他	18,878	22,253
無形固定資産合計	1,280,974	1,374,038
投資その他の資産		
投資有価証券	567,648	502,952
関係会社株式	10,056	10,056
敷金及び保証金	133,364	133,364
繰延税金資産	502,046	502,046
投資その他の資産合計	1,213,115	1,148,420
固定資産合計	2,644,083	2,678,290
資産合計	7,910,280	8,435,766

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	131,152	114,830
未払金	156,573	830,466
前受金	1,328,647	1,458,413
未払費用	76,029	49,550
未払法人税等	455,956	419,560
賞与引当金	70,499	140,224
その他	213,973	215,453
流動負債合計	2,432,831	3,228,498
固定負債		
役員退職慰労引当金	775,812	—
退職給付引当金	335,924	348,659
長期未払金	31,698	190,330
固定負債合計	1,143,434	538,989
負債合計	3,576,266	3,767,487
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金		
資本準備金	2,500	2,500
その他資本剰余金	6,403,039	4,902,124
資本剰余金合計	6,405,539	4,904,624
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,380,687	4,779,646
利益剰余金合計	4,380,687	4,779,646
自己株式	△6,644,237	△5,143,322
株主資本合計	4,151,989	4,550,948
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	121,704	57,009
評価・換算差額等合計	121,704	57,009
新株予約権	60,320	60,320
純資産合計	4,334,014	4,668,278
負債純資産合計	7,910,280	8,435,766

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	2,401,549	2,803,808
売上原価	980,271	854,176
売上総利益	1,421,277	1,949,632
販売費及び一般管理費	662,118	738,221
営業利益	759,159	1,211,410
営業外収益		
受取利息	2,598	5,283
その他	82	8
営業外収益合計	2,680	5,291
営業外費用		
支払手数料	8,505	—
為替差損	2,593	3,033
その他	172	—
営業外費用合計	11,272	3,033
経常利益	750,567	1,213,668
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	153,875	—
特別利益合計	153,875	—
税引前四半期純利益	904,442	1,213,668
法人税、住民税及び事業税	219,814	399,869
法人税等合計	219,814	399,869
四半期純利益	684,628	813,799

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却)

当社は、2026年3月6日付の会社法第370条及び当社定款第27条に定める取締役会決議に代わる書面決議により、自己株式の消却を決議し、会社法第178条の規定に基づき、2026年3月16日付で自己株式1,500,000株の消却を実施しております。この結果、当第1四半期累計期間においてその他資本剰余金及び自己株式がそれぞれ1,500,915千円減少しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期貸借対照表)

従来、「固定負債」の「その他」に含めていた「長期未払金」は、金額的重要性が増したため、当第1四半期会計期間より独立掲記することとしました。

この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「固定負債」の「その他」31,698千円は、「長期未払金」31,698千円として組替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	173,016千円	172,990千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。